

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
建築設備											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	藤原 正城			実務経験	有	職種	設備設計／設備設計一級建築士、建築設備士				
担当教員紹介											
専門学校の設備実習助手として6年間勤務し、その後建築設備の設計・監理および工事管理の実務に携わる。独立後は建築設備事務所を開設し、指定確認検査機関（建築確認業務）で設備担当の業務をメインに行っている。											
授業概要											
教科書をベースにして重要な項目については板書にてノートを書させる。 期末試験、確認テストおよび出欠、授業中の態度で総合的に判断して評価する。 毎回確認テストを実施するので管理をしっかりとすること。											
到達目標											
建築設備概論から始め、給排水衛生・空気調和換気・電気・搬送設備について教科書を活用し、時には、実務的な経験談を織り込みながら出来るだけ平易に解説する。将来の2級建築士受験にあたり、必要な基礎知識を習得する。											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業ノートを必ずとること、丁寧に書く必要はなくメモで構わない。 授業時数の 3／4 以上 出席しない者は、不合格とする。 私語・いねむり・着帽等 注意する。											
教科書教材											
「初学者の建築講座 建築設備」 大塚雅之 著 市ヶ谷出版社／ノート、色鉛筆、定規を持参											
回数	授業計画										
第1回	建築設備の概論 建築設備とは／地球環境と建築設備										
第2回	給排水衛生設備 給水設備 について把握する										
第3回	給湯設備、ガス設備 給湯設備、ガス設備について把握する										
第4回	排水設備 排水 通気設備と排水処理設備 について把握する										
第5回	衛生器具設備 衛生器具設備 について把握する										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
建築設備	
第6回	消火設備 消火設備 について把握する
第7回	空調調和設備の概要と、空調調和と室内環境 について把握する
第8回	空調負荷について 空気の状態を知り、空調負荷の考え方を把握する
第9回	空調調和方式について 空調調和方式の種類・特徴と設備計画、熱源・熱搬送設備と機器部材 について把握する
第10回	換気設備 について 換気・排煙設備、及び自動制御設備 について把握する
第11回	電気設備 電気設備の概要 について把握する
第12回	変電設備 動力設備 受変電・幹線設備、及び動力設備 について把握する
第13回	自家発電設備 照明設備 自家発電・蓄電池設備、及び照明・コンセント設備 について把握する
第14回	情報設備 情報・通信設備、及び防災設備 について把握する
第15回	搬送設備 搬送設備（エレベータ、エスカレータ、その他搬送設備）について把握 総まとめ